

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第68号 R4. 5. 1

「地域とともにある学校」をめざして —コミュニティ・スクールの導入—

第1回学校運営協議会が、東能勢小中学校・吉川中学校区それぞれで開催され、「コミュニティ・スクール」としてスタートしました。

「コミュニティ・スクール」とは、「学校運営協議会」を設置した学校のことです。「学校運営協議会」には、**学校運営の当事者**として保護者や地域の方々にもご参加いただき、協働で「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。その上で大事なことは、**学校・家庭・地域が目標（めざす子どもの姿）やビジョンを共有し、その実現に向け熟議等を通じ、それぞれが持つ役割を十分に機能させていくこと**にあります。学校及び保護者・地域がその教育力を相互に高め、共に子どもたちの豊かな学びと育ちを創造し「未来を拓く教育」をめざしていきます。



(ふたば園児作品)

第1回 学校運営協議会 開催

はじめに、森田教育長より委員の皆様への委嘱状の交付を行った後、会長・副会長を選出し、続いて今年度の各学校園所の経営方針について校長先生と所園長先生にご説明いただきました。その後、東地区は学校運営協議会の「スローガン（合言葉）」についてのミニ熟議、西地区は「めざす子どもの姿」について熟議を行いました。東・西地区共に、委員の皆様による活発な意見交換と熟議が行われました。

今年度は、主に令和8年度の義務教育学校開校に向けた協議・検討を行ってまいります。地域・保護者の皆様がそれぞれの立場から意見と知恵を出し合い、地域とともにあるよりよい学校づくりをめざしていきます。



← 東能勢小中学校協議会の様子
(4月21日 東能勢中学校にて開催)
「みんなが、わくわくする会になった
らいいです。(委員の感想)」

吉川中学校区協議会の様子 →
(4月26日 西公民館にて開催)
「会に初めて参加しましたが、楽し
かったです。(委員の感想)」



「とよの未来科」教材研修会 —パワーフード ヤーコンを育てよう—

昨年度、けいかく部会(保幼小中一貫教育推進担当者会)では、本町独自の学びである「とよの未来科」のカリキュラム作りを行ってきました。いよいよ、今年度より各校園所で試行実施していきます。

その試行実施にあたり、本町の幼稚園の先生を講師に「ヤーコンの栽培」に関する研修会を開催しました。豊富な栄養素を含み、生活習慣病予防などに効果のある「ヤーコン」は、本町の特産品として多くの農家で栽培されています。

研修会では講師の先生に「ヤーコンの特徴や幼稚園での取組み」を教えてくださいました。

「ヤーコン」の栽培を通して、地域とのつながりや保幼と小中との学びのつながりを深めていきたいと考えます。



研修会の様子

「とよの未来科」では、ふるさと「とよの」の自然・環境、生活・産業、歴史・伝統等について、就学前と義務教育9年間の体験的な活動や探求的な学習を通して理解を深め、「とよの」と自分に対する自信と誇りを育むとともに、「とよの」の未来と自分の生き方を結びつけ、持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力の基礎を養っていきます。

子どもたちの登下校の見守りに感謝します。

新年度がスタートし、1か月が過ぎました。子どもたちはたくさんの方々に見守られ、新1年生も一緒に、安心・安全に登下校することができています。子どもたちの登下校を見守っていただいています。地域の皆さん、保護者の皆さん、民生児童委員会の方々、豊能警察署の署員さんなど、本当にありがとうございます。



東能勢小学校



光風台小学校



吉川小学校



東ときわ台小学校